

2024年度 あかしSDGs推進審議会(議事要旨)

日 時	2024年(令和6年)11月15日(金) 10:00~12:00
場 所	市役所議会棟2階 大会議室 第2委員会室 第3委員会室
出席者	坂下会長、中野副会長、井上副会長 飯塚委員、岩村委員、小河委員、小野委員、河村委員、木戸委員、 崎野委員、四方委員、須藤委員、堂本委員、成田委員、西野委員、 宮川委員、森川委員、森口委員、山下委員 (50音順)
議 事	あかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)及び あかしSDGs前期戦略計画(明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期))の推進状況について
配布資料	・次第 ・資料1 あかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)及び あかしSDGs前期戦略(明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期))の推進状況について ・資料2 あかしSDGs推進審議会事前意見一覧 ・資料3 人口に関する意見 ・参考資料1 あかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)[2023年度(令和5年度)実行計画] ・参考資料2 あかし前期戦略計画(明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期))個別計画の概要
事務局	佐野副市長、永野副市長、福嶋理事、久保井政策局長、松永SDGs共創室長 企画・調整課

1 開 会

2 副市長あいさつ

皆様おはようございます。明石市副市長の佐野でございます。

本来ですと、この会議には、市長の丸谷が出席いたしまして、ご挨拶を申し上げるところでございますが、本日は外せない用事ができまして、大変失礼をしております。

私から代わって、ご挨拶を申し上げます。

本日は皆様お忙しい中、この審議会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。また、皆様におかれましては日頃より、市政の推進に大変ご理解とご協力を賜っておりますこと、この場をお借りしまして、御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

本日は、市の最上位計画であります、あかしSDGs推進計画でございますが、2022年4月からスタートしておりまして、2年半が経過をしております。

このSDGs推進計画につきまして、皆様もご存じの通りですが、明石市は、SDGsをま

ちづくりの基軸に位置付け、2030年のありたい姿をSDGs未来安心都市明石～いつまでも すべての人に やさしいまちを みんなで～としております。

こうしたまちづくりを推進するため、今年につきましては、共創元年と位置付けさせていただいて、また、2024年度のまちづくりの基本方針を対話と共創と定めさせていただき、取り組みを進めておるところでございます。

今後も、より住みやすい住み続けたいまちとなるためには、やはりこの計画について、皆さんとともに一緒に確認、検証させていただいて、今後の進め方につきましては、市もしっかりと認識して進めていくことが大変重要かと思っております。

本日お集まりの皆様は各分野で様々な活動をしていらっしゃる専門家でもいらっしゃいますし、公募市民の方におかれましては、明石にお住まいで、明石のプロでもありますので、こういった皆様方の意見を聞かせていただきまして、今後の計画の推進にしっかりと取り組んで参りたいというふうに考えております。

事前のご意見も多くいただきまして、私も読ませていただきました。ありがとうございました。

本日は、後程分科会という形で、少し小さな規模でご意見をいただくような計画にしております。その中でぜひ皆様忌憚のない意見をいただきまして、今までの計画の検証と、今後の推進のための意見をお聞かせいただきたいと考えております。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(A委員)

この審議会というのは明石市の10年間の、第6次長期総合計画の基本になっているものであり、私は作成にも参加しまして、明石市の将来10年間を決めるんやという、すごい高揚感と責任感でワクワクして、参加しています。この大事な審議会に、市長がお見えにならないのが、どうしてもわかりません。

大事な公務があるのかわかりませんが、明石市のマスタープランとなる審議会なのに、欠席する。私審議会など充て職で10個ぐらいしていますが、あまり市長がお見えにならない。そして自分の意見をおっしゃらない。今どのように考えて、これから明石市をどのように運営しようとしているのか、総括的なことを市長として、委員の皆さんに説明する責任があると思います。市長にはっきり伝えてほしいんです。明石市のマスタープラン、一番大事なことを決める会議を欠席するという、たとえ5分でも10分でも来て、皆さんの前で意見を言っ、いろんなことをお願いするというのが大事ではないでしょうか。

市長として、今後どのようにされるのかということ、はっきりお聞きしたいと思って来ましたが、残念ながら今日はお見えにならなかったもので、議事の進行を妨げないにしますけれども、委員の皆さんがどう思っておられるか聞きたいと思っています。

明石市がこれからどうなるのか、先が心配です。この会議の重要性を、再認識してやるべきだと思っております。

(副市長)

A委員からのご意見につきましては、私どもも心にしっかりと留めさせていただき、また市長の方にもお伝えさせていただきます。

本日、元々はこの計画の大切さを認識し出席する予定でございました。ただ、本当に申し訳ありませんが、この会議よりも優先せざるを得ない、どうしても外せない事項がございまして、そちらの方に今出席をしております。大変申し訳ありませんが、ご理解を賜りたいと考えております。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

(会長)

今の発言は本当に明石市を思う、皆さんの心意気というか強い気持ちだと思いますのでどうぞよろしく受けとめていただければと思います。

3 審議会委員及び市出席者の紹介

4 議事

(1)あかしSDGs推進計画(明石市第6次長期総合計画)及びあかしSDGs前期戦略計画(明石市まち・ひと・しごと創生総合戦略(第2期))の推進状況について

(事務局)

「あかしSDGs推進計画及びあかしSDGs前期戦略計画の推進状況について」資料に沿ってご説明いたします。[資料1](#)をお願いします。

2ページをご覧ください。

「1 計画の概要」についてです。

まず、上半分の図のあかしSDGs推進計画についてですが、こちらは、市の最上位の行政計画として、目指すまちの姿やまちづくりの方向性といった基本構想を定めており、2030年のあるべき姿を「SDGs未来安心都市・明石～いつまでも すべての人に やさしいまちをみんなで～」と掲げ、また、2030年度の目標を「住みやすいと思う人の割合100%」と「人口30万人の維持」としています。

続いて、下半分の図の「あかしSDGs前期戦略計画」です。本計画は、先ほど説明いたしました2030年のあるべき姿の実現にむけた、まちづくりの戦略を定める中期計画となっており、施策展開の方向性と主要事業、KPIを定めています。

3ページをお願いします。

「2 推進状況の検証」の「(1) 検証の方法」についてです。中段の枠囲いの部分をご覧ください。

以下の視点に基づき、3点から推進状況の検証を行っていきます。2030年のあるべき姿の実現に向けて進んでいるか、まちづくり全体の推進状況という視点から、①まちの住みやすさや愛着度、定住意向についての市民意識の分析と②目標人口の実現に向けた人口動向の分析を行います。また、前期戦略計画に掲げる施策展開の5つの柱に沿った効果的な施策が展開されているかという視点から、③主な新規・拡充施策の実施状況とKPIの進捗状況を確認いたします。

なお、本日の審議会においては、②③について、ご議論いただきます。

「(2) 現時点の推進状況」です。

①まちの住みやすさや愛着度、定住意向についての市民意識の分析についてはまちづくり市民意識調査にて判断することとしています。実施時期は2025年1月を予定しています。

②目標人口の実現に向けた人口動向の分析です。

4ページをお願いします。

図1のとおり、総人口は、2013年から12年連続して増加しており、現状、目標である人口30万人を大きく上回っています。

図2の年齢3区分別人口をご覧ください。2014年と比べると、15～64歳の生産年齢人口の人数・割合が低減するとともに、65歳以上の老年人口が増加しています。これは、全国的な傾向と比べると緩やかですが高齢化が進んでいる状況です。一方で、14歳以下の年少人口の人数・割合は微増傾向にあります。

5ページをお願いします。

図3をご覧ください。人口動態ですが、水色棒グラフのとおり、2013年から連続してプラスとなっており、その内訳として、緑色の折れ線グラフで示す、自然動態は、2017年から連続してマイナスとなっていますが、オレンジの折れ線グラフで示す、社会動態は、2013年から連続してプラスとなっています。

6ページをお願いします。

図4の出生数、図5の合計特殊出生率については、いずれにおいても、2022年は、新型コロナウイルスの影響で両数値とも減少しましたが、2023年は2021年の値まで回復しています。合計特殊出生率について、全国平均より約0.45ポイント高い値となっています。

7ページをお願いします。

図6の通り、特に0～9歳と25～39歳の子育て世代の転入超過が顕著です。

以上が、本市における人口動向の説明となります。

なお、この人口動向に関しましては、事前に学識の委員から、お手元に配布していますとおり、ご意見を頂戴しておりますので、ご確認お願いいたします。

続きまして、これから皆様にご議論いただく、「③ 主な新規・拡充施策の実施状況とKPIの進捗状況」についてご説明します。

前期戦略計画に定める施策展開の5つの柱及び柱ごとの具体的な展開の方向に基づき、2023年度以降に実施した主な新規・拡充施策の概要と、各施策展開に関するKPIの進捗度

を取りまとめています。

8ページをお願いします。

柱1は、「豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める」です。

説明は、2023～2024年度の主な新規・拡充施策について、抜粋してご説明させていただきます。

「1、脱炭素社会の実現」に関しましては、「脱炭素化に向けた省エネ・再エネ設備の導入促進」として、家庭用・事業所における太陽光発電設備等の導入補助を継続するとともに、事業所におけるEV普通充電設備の導入補助など、拡充しました。また、「気候変動への適応の推進」として、熱中症予防のために、暑さをしのぐ場所として、ひと涼みスポットを拡大するとともに、市役所にマイボトル専用の無料給水スポットであるごくごくスポットを設置しました。

「2 循環型社会の実現」に関しましては、「ごみ減量施策の推進」として、ゼロ・ウェイストあかしの取組で、紙ごみ再資源化のためのリサイクルボックス、Taco箱を昨年度市役所に設置し、今年度は、クリーンセンターに設置予定です。

「3 自然環境の保全と活用」に関しましては、「生物多様性の保全」として、神戸市との連携協定に基づき、フォーラムを実施するとともに、環境教育リーダーの養成を行っています。また、「豊かな海づくりの推進」として、貧栄養化対策として、肥料等を漁場へ投入する取組の他、アマモ場の造成支援や、マダコ種苗の量産技術開発支援に取り組んでいます。

KPIの実績値及び進捗度は、記載の通りです。

次に10ページをお願いします。

柱2は、「笑顔あふれる共生社会(インクルーシブ社会)をつくる」です。

「1、支え合う地域づくり」に関しましては、「小学校区単位の協働のまちづくりの推進」として、地域事務局職員向けに研修を実施するほか、まちづくり計画書の策定を支援し、まちづくり組織の組織力強化を図っています。「地域における支え手の育成」として、市民活動応援助成金を拡充・交付し、活動の横展開や連携の助けとなる発表会及び交流会を実施しました。

「2 自分らしく生きることができる社会づくり」に関しましては、「認知症の人や家族への支援の充実」として、オレンジサポーター養成講座を継続的に実施するとともに、今年度は「あかしオレンジ・フェス」を開催するなど、認知症支援の啓発に取り組んでいます。「インクルーシブ施策の推進」として、インクルーシブアドバイザー制度を利用したバリアフリーに関する補助制度等を運用しています。

「3 健康・長寿の推進」に関しましては、「健康意識の啓発と地域での健康づくりの推進」として、地域イベントに健康づくりブースを出展するほか、2024年度から、50歳以上の市民を対象に带状疱疹ワクチン接種費用を助成しています。「自殺対策の充実」として、自殺予防ゲートキーパーの養成に取り組むとともに、LINEを始めとしたSNSを活用した相談事業を開始しています。

KPIの実績値及び進捗度は、記載の通りです。

次に12ページをお願いします。

柱3は、「子どもの育ちをまちのみんなで支える」です。

「1、安心して子育てができる環境の整備」に関しましては、「子育てにかかる無料化施策等の推進」として、5つの無料化や市独自の高校生世代への児童手当の支給など、子育て世帯の経済的負担軽減に取り組んでいます。「子育てと仕事の両立のための環境整備」として、病児・病後児保育の拡充や、医療的ケアに関する相談窓口の設置、小児科診療所の開設に係る費用の助成制度の創設などを行っています。

「2 一人ひとりに応じた質の高い教育の推進」に関しましては、「学校施設及び学習環境の整備」として、明石商業高等学校に福祉課を開設したほか、明石養護学校への通学のためにスクールバスを導入しました。「食育の推進」として、学校給食において「有機給食の日」、「あかし地産地消の日」を設け、有機食材や地元の水産物を使用した献立を提供しています。

「3 こどもの状況に応じた適切な支援」に関しましては、「こどもの居場所」づくりの推進」として、全中学校と、大規模の7小学校に「校内フリースペース」を設置し、また、市内2か所目となる公設民営のこどもの居場所を開設する準備を行っています。加えて、フリースクール等の民間施設の利用経費の一部を今年度より助成します。

KPIの実績値及び進捗度は、記載の通りです。

次に14ページをお願いします。

柱4は、「安全・安心を支える生活基盤を強化する」です。

「1、防災・感染症対策の強化」に関しましては、「地域防災力・災害対応力の向上」として、災害時要配慮者への個別支援計画の作成を進めています。「避難所の充実」として、高齢者・障害者・女性・乳幼児等が安心して避難所へ避難できるよう、福祉避難所を拡充し、また、必要な備蓄を進めています。

「2 日常の安全・安心の確保」に関しましては、「消防・救急体制の強化」として、中崎分署の建替について取り組んでいるほか、江井島分署の消防隊と救急隊の兼務を解消しています。「良好な住環境づくり」として、市が管理する防犯カメラの増設や、自治会等へ防犯カメラの設置助成を行うほか、特殊詐欺の被害を防ぐために自動電話機の購入費を助成しました。

「3 誰もが利用しやすく安全で強靱な都市基盤の整備」に関しましては、「市内全域の均衡ある発展を目指した取組」として、西明石地域交流センター等の2026年度中の供用開始に向けて取り組んでいます。「安全で利便性の高いインフラ整備」として、2路線の幹線道路の整備を進めるほか、山陽電鉄藤江駅のバリアフリー化や、JR明石駅のホームドア、南畑踏切へのエレベーター付横断歩道橋の設置に取り組んでいます。

KPIの実績値及び進捗度は、記載の通りです。

次に16ページをお願いします。

柱5は、「まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す」です。

「1、地域産業の振興」に関しましては、「中小企業の振興」として、チャレンジ・スタートアップ事業者支援補助金を開始しました。「農水産業の振興」として、新規就農者の経営開始資

金の支援や、減化学肥料、減農薬につながる取組への補助等を実施しています。

「2 豊かな心を育む文化・芸術の推進」に関しましては、「本のまち明石の推進」として、2025年4月に、イトーヨーカドー明石店内に図書館の開館を目指しています。

「歴史のまち明石の推進」として、源氏物語ゆかりの地を発信し、さまざまなプロモーションを展開する、あかし源氏物語プロジェクトを実施しています。

「3 まちの魅力を生かした賑わいの創出」に関しましては、「時のまち明石の推進」として、プラネタリウム100周年を記念したイベントを実施し、時のまち明石を全国・全世界に発信しました。また、天文科学館が博物館の振興に大きく貢献したと評価され、「日本博物館協会賞」を受賞しました。「海岸線を活用した取組の推進」として、大蔵海岸の世界一のビーチスポーツスポットを目指し、大会への運営補助や支援等を通じて、ビーチスポーツの誘致を行っています。

なお、KPIの実績値及び進捗度は、記載の通りですが、市内総生産については、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、経済活動の縮小の影響が大きい状況となっています。

次に18ページをお願いします。

最後に計画の推進、「効率的・効果的な行政運営」です。

「1、SDGsの更なる推進」に関しましては、「市民団体、教育機関、事業者等との連携の推進」として、2024年度から対話と共創をまちづくりの基本方針として掲げ、タウンミーティングを毎月実施するほか、市民や職員を対象としたファシリテーターの養成に取り組んでいます。また、産官学民の多様な主体との共創による取組を展開するため、民間提案制度を開始し、積極的な事業化に取り組んでいます。「市民等へのSDGsの周知・啓発」として、あかしSDGsパートナーズ登録団体に対して、アドバイザーの派遣を行うほか、あかしSDGsウイーク期間に、ビーチクリーンやパネル展示、兵庫県やパートナーズ登録団体との共創によるあかしSDGs共創フェアを実施しました。

「2 持続可能で自立した行政経営」に関しましては、「自治体DX推進計画に沿った業務の効率化」として、申請手続きのオンライン化を進めるほか、公文書の電子化など、市役所業務のDX化を図っています。「みんなで作る財政白書の策定」として、市の財政状況の見える化を図るべく、専門知識のない方でも分かりやすい財政白書の策定に取り組んでいます。

以上で説明とさせていただきます。

(会長)

17ページの市内総生産が、現在出ている数値が2021年度になっていて、他の数値は最新値が2023年度になっていますが、これは最新の値はまだ手に入らないということでしょうか。

(事務局)

現時点の最新の数字がこの2021年の数字ということになっております。

また、この2023年の数字というのは、3年後に出てくるということで、現時点で把握できないということでご理解いただければと思います。

(会長)

そうするとKPIの数値としては、ふさわしくないかもしれないですね。2年後、3年目になってやっとわかるってということになっちゃいますよね。

わかりました、どうもありがとうございました。

(B委員)

資料に、オンライン申請システムの申請がスムーズにいくようにと書いてありますが、先日、実家の母親の代わりに、明石で他県の戸籍謄本を取ったら、5時間ぐらいかかりました。ここにいながら他県のもが取れるというのは画期的だと思いますが、ちょっと時間がかかりすぎて、もう少し迅速に取れたら素晴らしいシステムだと思うのですが、その点はいかがなんでしょうか。

(事務局)

戸籍に関しては、国のシステムで自治体間の連携をするようなシステムになっています。運用が始まり時間がたっていないため、運用上何か不都合があったのかもしれませんが。今後ともできる限り、市民の皆さんのお手数をかけないような形で、オンライン化を進めて参りたいと考えております。

(会長)

私が明石で戸籍謄本を取り寄せたときは、すぐに取れました。最近、自分でやるのがございまして、よその県からでしたが、すぐに取れました。

(C委員)

KPIの年次がずれてしまっている点について、直近の数字が取れないってことは理解できますが、大事なことはそこではなくて、これまでの取組の成果がすぐにわからないのであれば、これ何のためにやってるのかってことになってしまうと思うんですね、KPIの場合は、そんなに難しい問題じゃないと思っています。直近の数字が取れなくても、もう少し分解すればいいってことだと思います。

結局市内の総生産がどういう構造で上がっていて、どういう業界があって、それぞれの数字が伸びるっていうのは、最終的にどういうことなのか、分解しようと思ったらできるわけですし、もう少し広く言うと、神戸を含む、この近畿圏のシェアをどれぐらい取っていくんだっていうところとも関係していきます。

アクション等に対して、結果のすぐにわかるものを置いていかないと、結局2年後3年後

に、あれがどうだったんだらうってことがわかったとしても、結局何のアプローチも、即時性を持って自分たちの生活の質を上げるってことに繋がらないものを繰り返すってことになってしまうと思います。それであれば、どういうものを置き直すのかという議論を発展させていく必要があります。すぐというわけではないと思いますが、ご検討をお願いしたいと思います。

(会長)

貴重なご意見ありがとうございます。

皆さんのいろんな意見は、次の分科会に反映させていただきたいと思いますし、私も改善すべきところを探しながら、改善をしていくべきだと考えています。

(2)分科会(各分科会に分かれて議論)

- ・ 1 各柱において、効果的に施策が展開されているか
- ・ 2 各柱において、今後力を入れて取組を進めてもらいたいこと

分科会A	[テーマ] ①柱1 「豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める」 ②計画の推進 [司会]中野副会長 岩村委員、崎野委員、四方委員、成田委員、西野委員 (50音順)
分科会B	[テーマ] ①柱2 「笑顔あふれる共生社会(インクルーシブ社会)をつくる」 ②柱3 「こどもの育ちをまちのみんなで支える」 [司会]坂下会長 飯塚委員、小河委員、木戸委員、堂本委員、宮川委員、森川委員 (50音順)
分科会C	[テーマ] ①柱4 「安全・安心を支える生活基盤を強化する」 ②柱5 「まちの魅力を高め、活力と交流を生み出す」 [司会]井上副会長 小野委員、河村委員、須藤委員、森口委員、山下委員 (50音順)

(会長)

各分科会で出た意見を共有していただきたいと思います。

(中野副会長(分科会A))

◆柱1

分科会に移る前に、KPIの実績値の年度が違うので、評価が難しいという話がありましたが、それに関連し、「豊かな自然と共生し、暮らしの質を高める」という柱1に関して、例えば地球温暖化対策実行計画という個別計画があり、個別計画と上位計画のリンクがよくわからず、どう評価して、どう対策に持っていくのかよくわからないので、個別計画と上位計画との関連をはっきりさせてほしいという意見がありました。

この計画を作成した時には、問題となっていなかったPFASという、水の新しい問題があるので、水の問題もちゃんと位置付けて対策を進めてほしいということです。

地球環境の悪化のスピードが速いのに、この計画はスピード感が足りないということで、地球環境の変動とずれないように、スピード感をもってやってほしい。ここに集まっているような積極的な人だけでなく、関心を持っていない人にも伝わるように、説明啓発を積極

的に進めてほしいというご意見がありました。

データに関して、温室効果ガスの値だけみても分からないところがありますので、データの構造をちゃんとわかるようにしてほしい。また、企業がどう変われば温室効果ガスを減らせるのかということに関して、太陽光パネルの設置も含めて、もう少し分かりやすくしてほしいという意見がありました。

ごみに関しては、市民が少し関心を持ち日々対策をすれば、できることも沢山あるので、意識を高める啓発をしてほしいということでした。

太陽光パネルに関して、企業が太陽光パネルを積極的につければ、企業の収益にも関係してくるので、環境と経済の関連をもっと進められるようにしてほしいという意見がありました。

◆計画の推進

タウンミーティングを今まで何回もやっているけれども、その結果がどう市の施策に活かされているのかがわからない。結局、言いつ放しになっているのではないか。出た意見がいつどのように活かされるのかということをきちんと形としてほしいという意見がありました。

市民から要望が出れば何でも実行できるわけではないので、市長がポリシーをちゃんとはっきりさせ、こう考えているのでこう進めていきたいということを、市民に説明してほしいということでした。

明石市が言っている「対話と共創」の先にあることを、方針としてはっきり示してほしいという意見がありました。

市の持つ財産である、大蔵海岸とか、自然環境をもっと産業にも結び付け、全国的に、また海外にも発信して産業の進展にもつながるような形を考えてほしいという意見がありました。

(会長(分科会B))

◆柱2 ◆柱3

まず、共生社会、インクルーシブな社会について、全般的にはうまく進んでいっているという皆さんの評価でありました。

一方、健康寿命については、改善の余地があり、特にフレイルの取組に関して、チェックはしたけれども、そのあとどのような対策が行われているのか、具体的な市民活動までつなげてほしいということでした。

やさしいまちというキーワードで、バリアフリー等進んでいるという実感はあるけれども、今は方向性が明確でなく、今後この方向で真剣に進めていってもらえるのかということが不安で、進み方もゆっくりになっているのではないかの懸念がありました。また、山陽電車の駅の無人化がどんどん進んでいるので、障害のある方は不安に思っていることや、何かあったときに駅員と連絡をとるインターホンも双方向のモニターにしてほしいというご要望もありました。

明石にはインクルーシブアドバイザーという、障害当事者がアドバイスをする仕組みはあるけれども、広まっていないので、障害者のためという視点ではなく、皆が住みやすいという視点でまちづくりを進めてほしい、そこに力をいれてほしいという意見がありました。

子ども達が増えて、それはすごくいいんだけど、子どもの急激な増加に施設が対応しているのだろうか。6年ぶりに待機児童が増えたといったことも聞かれるので、子ども達への対応というところが重要だというご指摘がありました。

古い住民と新しく引っ越してこられた方たちの間にギャップがあるので、その人たちが共同で取り組めるようなことや、世代間で交流が起きるということが重要だというご意見がありました。

朝霧地区で実施しているソフトバンクと共同して作成したLINEを利用した電子回覧のシステムは、すごく良いと思いました。そのシステムを利用して、不審者が現れたらそれを皆に知らせられたりする仕組みがあるようなので、市全域に普及できないかということをも市で是非ご検討いただけたら有難いと思います。

自治会で子ども達と高齢者が触れ合うような、麻雀大会やカラオケ大会などが開催できたらよいというご提案がありました。

繰り返しになりますが、今の方向性はとても良いので、これを強力に進めていってほしいという希望が出ました。

(井上副会長(分科会C))

◆柱4

先日、市の防災訓練があり、障害者の方をどう支援していくかといったところをメインに非常に充実した防災訓練であったということで、市民の参加者はたくさんいたけれども、市の職員が少なかったことに問題があるのではないかという意見がありました。市全体としても防災に関わる部署の人員が非常に少なく、今後南海トラフ地震も来ると言われているので、市の担当者数を増やしてほしいという意見がありました。

闇バイトが最近話題で、強盗殺人等の事件が全国で起きており、明石ではまだ起きていませんが、だんだん地方に広がっていく、そういう危機的な状況です。明石市では公共施設には防犯カメラは設置されているけれども、日常で使う道路にないので、市道に防犯カメラを設置して、市で運用してほしいということでした。また、若者の闇バイトなどの犯罪を防ぐために、小中高校生に教育をしたり、市の広報で啓発をしたほうが良いのではないかという意見がありました。

◆柱5

本のまち明石をどのようにアピールしていくかということについてですが、今の若者は情報を収集するときにYouTubeやインターネットのサイトを重視して、本を読まないことが多いので、それでは文章力や読解力がなかなか育たないため、明石市が本のまち明石ということで、図書館の充実を図っていることは、評価できるという意見がありました。

あと、図書館の開館について、夜8時ぐらいまでやってほしいとのことでした。

観光について、日本に外国人がたくさん来ていますが、明石を通り越して橋を渡って淡路島や四国に行ってしまうというのは、もったいないので、明石で何らかの観光や食事をしてもらえるように、アピールできる目玉を作っていく、そういう方向性を考えてほしいとのことでした。

チャレンジスタートアップ制度に、33件の応募があり、6件採択されたということで、明石でも、アメリカでいうGoogleやMicrosoftみたいな企業が生まれる可能性を探っていきたいという意見がありました。

(会長)

分科会Bでは、子育て世代の急激な流入があるので、今後の人口動態も予測しながら、今後は中高生にももう少し焦点をあててほしいとの意見がありましたので、追加しておきます。

両副会長からも、何か追加したいことがありますか。

(中野副会長)

こちらの分科会でも、学校教育を通して、子どもへのSDGs教育をもっとしっかりやってほしいとの意見がありました。

(井上副会長)

図書を通して、子どもの能力を伸ばして、明石の基礎学力を高めていくという方向性が必要だし、また、できるのではないかという意見がありました。

(会長)

皆さんの意見を聞いていると、私たちが取り扱っている計画は非常に抽象的な内容であり、そこから具体的な個別の計画がどのように繋がっているのかというのが、少々見えにくいと感じました。今後は、そのあたりを工夫して見せていただけたらありがたいと思います。

前の市長が非常に強烈な方だったので、市がどこに向かって動いていこうとしているのかが分かりやすかったということはあると思います。その後ということでご苦勞もあるとは思いますが、丸谷市長様には、どこに明石市が向いて行くかというポリシーを、色んな機会に伝えてほしい、伝えてはくださっているんですけど、市民に浸透するには、かなり努力が必要なのかなと思いました。今後の市長さんのリーダーシップに期待いたします。

最後にこれらの内容を受けて、事務局からなにかございますか。

(事務局)

貴重な意見、本当にありがとうございました。

本市のまちづくりについて、お褒めいただいた点、また、より改善しさらに力を入れて取り組む点、こういったご意見を多数いただき、現行計画に対する課題も、ご意見としていただいたと認識しております。

本日のご意見は、事務局より、各部局にきちんと情報共有させていただきます。

前期戦略計画が来年度で期間満了となるため、来年度は後期戦略計画を策定していくこととなります。本日いただいたご意見も後期戦略に生かして参りたいと考えておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

(会長)

活発な意見交換、進行へのご協力ありがとうございました。

今日は、貴重なご意見を沢山いただきましたので、私も来年に向けてしっかり実現していくように責任があると思っておりますので、どれが実現されていっているか、細かく見させていただきたいと思っております。

事務局においては、ぜひ実現に向けて努力をお願いしたいと思いますし、来年度の後期戦略計画に活かしていただけるようお願いをしたいと思います。